

東和組立(株)(製造業(自動車部品)・美濃加茂市)

DXと働きやすい職場環境の整備により、働きにくさを感じていた人の活躍の場を創出し、人材も確保

- ・ 製造ラインの単純化やマニュアルの映像化、デジタル技術を活用した業務補助により、障がい者や外国人が多数活躍
- ・ 各社員の家庭事情に合わせて、子連れ出勤や出勤時間のスライド勤務が可能
- ・ 社員の創意工夫により、低成本で職場環境を改善

自動車のサスペンションに組み込まれる部品の組立、塗装、梱包を行う東和組立（株）。同社が、製造業における将来的な人手不足を見越し、障がい者雇用を始めたのは、平成元年。また、所在する美濃加茂市は、人口の約1割を外国籍の方が占めていますが、リーマンショックに伴う大手製造業の撤退などを受け、外国にルーツを持つ方の正社員化を併せて進めてきました。

障がい者や外国人の方が長く働き続けられる環境をDXで整備

こうした方が長く働き続けられる環境を整備するために、まず取り組んだのが、デジタルによる業務改革です。同社では製造ラインを単純化した上で、障がいの有無や言語に関わらず、誰もが業務内容を理解できるよう、各業務のマニュアルを100本以上動画で作成し、クラウド上でいつでも確認できるようにしました。

また、聴覚障害者や外国人向けに、話したことが自動で文字起こしされるソフトやメモパッドを導入しコミュニケーションの際に活用するなど、業務補助のためのデジタル技術も積極的に導入しました。

子連れ出勤やスライド勤務が可能

併せて取り組んだのが、社員が働きやすい環境づくりです。自動車部品の作業ラインは休日も稼働していますが、有給休暇を使って、子どもの面倒を見ないといけない方も多くいました。

そこで、5年前から「カンガルー・ポケット」という子どもが滞在することが出来るスペースを工場内に作り、子連れ出勤が出来る環境を整えました。併せて、親の介護や子育てが必要な社員には、スライド勤務を認め、各個人の家庭事情に合わせた勤務を認めています。



「カンガルー・ポケット」では
社員が子どもの様子を見守りながら働く

社員の創意工夫で、コストを節約しながら働きやすい環境を整備

加えて、社員の創意工夫により、コストを節約しながら働きやすい環境づくりを進めています。

例えば、重い部品を運ぶ台車は、業務用で販売しているものは一般に高価なものが多い傾向ですが、高齢社員が重い台車を押さなくて済むように、手頃な価格帯の農業用の電動台車を自社のニーズに合わせてカスタマイズし、低成本で高齢社員の負担軽減を実現しています。

また、冷房による完全な空調管理が難しい工場内では、冷却ベストやファンベストを作業員に配布し、空調管理の設備投資を行うより低成本で環境負荷の少ない熱中症対策に取り組んでいます。



農業用の電動台車をカスタマイズ

多様な人材が活躍する職場に



障がい者や外国人も定着

こうした取組の結果、現在では法定雇用率を大きく上回る20名の障がい者を雇用しており、障がい者の平均雇用年数は約15年となっています。また、外国人も正社員の約3割を占め、中には家を建て、定住につながった方も少なくありません。

人材不足が深刻な製造業ですが、「判断や記録が必要な業務をデジタル技術に置き換えることができれば、障がい者や外国人など、働きにくさを感じていた人の活躍の場を増やしていくことができる。こういった方々を戦力化し、人手不足解消に繋げていきたい」と林佳寿彦社長は語ります。

今後もデジタル技術の活用と働きやすい職場環境の整備により、多様な人材が戦力となる職場環境の実現を進めていきたいと考えています。

【従業員の声】

日本で外国人として働くことに最初はとても緊張しました。文化や習慣の違いに戸惑うこともありました。でも周りの人たちが助けてくれて少しづつ慣れました。今では日本で働くことをうれしく思っています。

【東和組立（株）】 (<https://towakumi.co.jp/>)

所在地：美濃加茂市川合町4-5-2

従業員：123名（うち正社員116名、パート7名）

設立：昭和44年

（令和7年10月末時点）